

平成 24 年 7 月 9 日

各位

大会長 明石真言
放射線医学総合研究所 理事

第 16 回放射線事故医療研究会開催のご案内

1997 年に放射線事故医療研究会が設立されて以来、これまで総会及び定例会を毎年開催してきました。この研究会は決して大きなものではありませんでしたが、被ばく医療、原子力災害に関わる様々な分野の専門家や関係者との関係を構築し、情報交換の場として機能し、国内外の緊急被ばく医療に関する最新の情報の紹介もしてきました。

そのような中で、2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、その地震、津波によって東電福島第一原子力発電所に事故が起き、これまで我々が経験したことの無い大規模かつ長期にわたる被ばく医療対応に当たることとなりました。この事故への対応では、これまで緊急被ばく医療の人材育成、体制整備に関わってきた多くの関係者が、この事故対応の実践の場で活動し、さらには、初めて緊急被ばく医療の実践に関わった方も多くいました。

緊急被ばく医療の基本概念は、「いつでも、どこでも、だれにでも最善の医療を提供すること」であり、最後のセーフティーネットです。私たちは、そのために人材育成、体制整備を行ってきました。しかしながら、この事故対応からは、未だに緊急被ばく医療は、どこでも提供できる医療ではないこと、また被ばく医療に関わる人材が少ないことが、改めて認識されました。すなわち、体制や組織は、その中で働く人材の確保や教育が出来なければ、機能しません。

この事故を経験し、原子力防災体制、緊急被ばく医療体制の再構築が叫ばれていますが、今回は緊急被ばく医療の原点に帰り、汚染の有無に関係なく、被ばく医療が必要な傷病者に対して、医療の質が低下することなく提供できる、より良い緊急被ばく医療体制を構築するために、これまでの被ばく医療の教育や体制整備について改めて議論し、これからの被ばく医療の人材確保とその教育のための課題や改善策について話し合いたいと思います。

記

1. 日 時 平成 24 年 9 月 8 日 (土) 10 : 00 ~ 18 : 00
2. 場 所 放射線医学総合研究所 (千葉県稲毛区穴川 4-9-1)
重粒子治療推進棟 大会議室
3. テ ー マ 緊急被ばく医療の原点へ帰る ~次世代へのメッセージ~
4. 内 容
基調講演 「緊急被ばく医療の過去と未来」
報告 「東電福島第一原子力発電所事故における放医研の活動、役割、
今後の展望」
パネルディスカッション① 「緊急被ばく医療の人材育成と人材確保」
パネルディスカッション② 「東電福島第一原発事故の現場対応と課題」
5. 参加費等 参加費 2,000 円 懇親会費 3,000 円 (当日受付)
6. 参加登録 申込書に必要事項をご記入の上、8 月 10 日 (金) までに FAX
または、電子メールでご返信くださいますようお願いいたします。
7. 昼 食 会場内には、食堂等ございません。予め昼食をご持参いただく
か、会場での弁当の手配をご希望される場合は、申込書にご記
入下さい。当日会場での弁当の手配は承りません。
8. そ の 他 会場には駐車場は用意しておりません。公共交通機関を使って
ご来場ください。
年会費 5,000 円も当日受け付けいたしますので、よろしくお願
いいたします。

以上

* 本件に関するお問い合わせ先 :

第 16 回放射線事故医療研究会 大会事務局
放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター
〒263-8555 千葉県稲毛区穴川 4-9-1
TEL : 043-206-3116 FAX : 043-206-4095
E-mail : jammra16@nirs.go.jp

第16回 放射線事故医療研究会

緊急被ばく医療の原点へ帰る 次世代へのメッセージ

日時 平成24年9月8日(土) 10:00～18:00 (9:30開場)
場所 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟大会議室
大会長 明石真言 (放射線医学総合研究所 理事)

プログラム

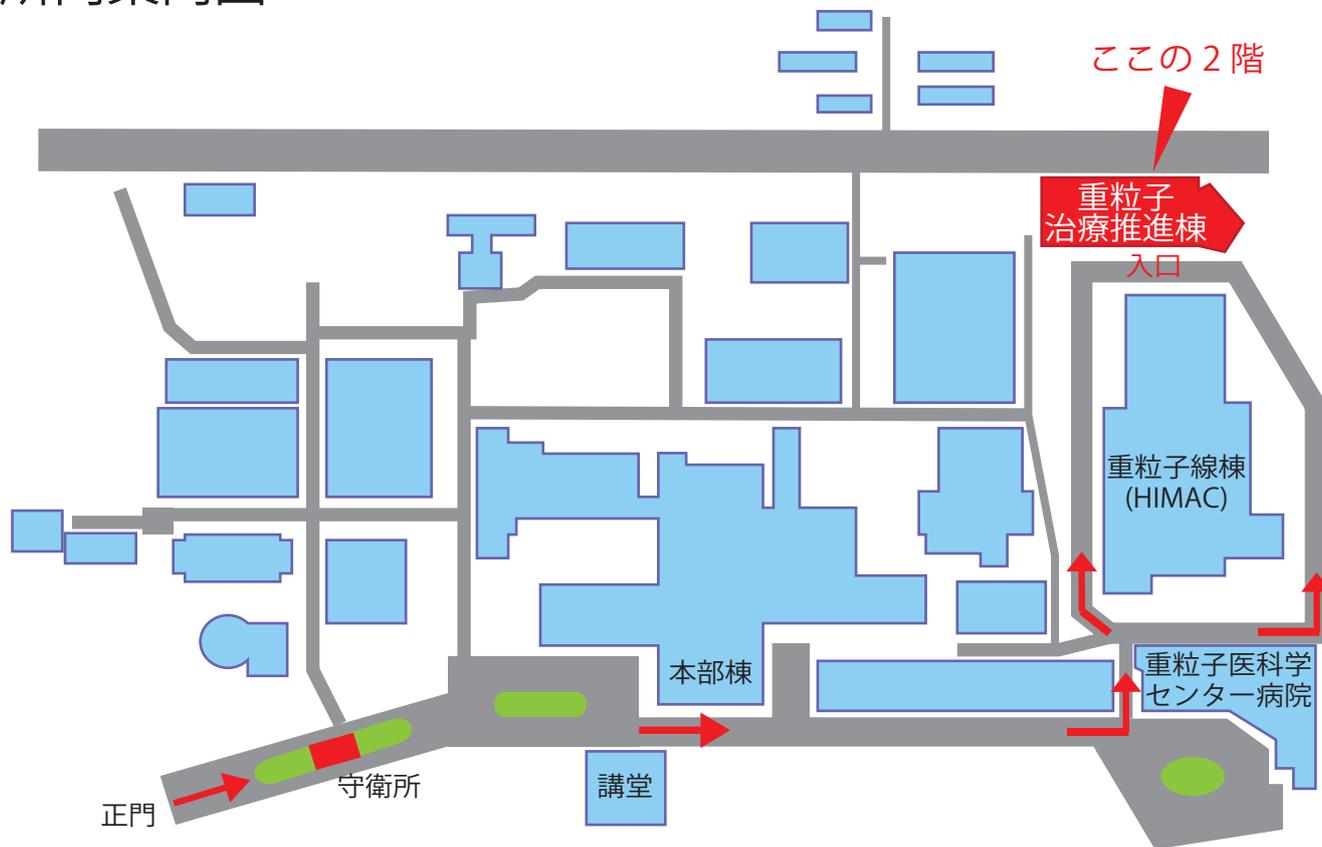
- 10:00 開会 大会長挨拶
- 10:20 基調講演 「緊急被ばく医療の過去と未来」
座長 鈴木元 (国際医療福祉大学クリニック)
演者 前川和彦 (フジ虎ノ門整形外科病院)
- 11:05 報告 「東電福島第一原発事故対応における放医研の活動、役割今後の展望」
座長 百瀬琢磨 (JAEA)
演者 明石真言 (放医研) 米内俊祐 (放医研)
- 13:30 総会 1. 会計と庶務報告 2. 学会への移行について
- 14:10 パネルディスカッション①
「緊急被ばく医療における人材育成と人材確保」
座長 衣笠達也 (三菱重工造船所) 明石真言 (放医研)
パネリスト 橋口尚幸 (島根大学) 柏倉幾郎 (弘前大学)
浅利靖 (弘前大学) 山本尚幸 (原子力安全研究協会)
立崎英夫 (放医研)
- 16:00 パネルディスカッション②
「東電福島第一原発事故の現場対応と課題」
座長 前川和彦 (フジ虎ノ門整形外科病院) 浅利靖 (弘前大学)
パネリスト 森村尚登 (横浜市立大学) 北宮千秋 (弘前大学)
熊谷敦史 (福島県立医大) 宮後法博 (放医研)
富永隆子 (放医研)
- 17:40 閉会 次期会長挨拶

交通アクセス

* 駐車場はご用意しておりませんので、公共交通機関をご利用ください。



所内案内図



* 守衛所にて「第16回放射線事故医療研究会 参加」とお伝えください。